

AMOT

Aqua Market of Toyosu

山田 章・中川めぐみ

設計主旨

築地市場は、首都東京を代表する歴史のある卸売市場である。この計画は隣接埋立地である豊洲への移転新築計画である。計画敷地である江東区豊洲は海と川に育まれた江戸下町の伝統と、ウォーターフロントに展開する未来都市建設との調和をはかりながら、人と街と海と川がふれあう新たな水の都として変貌を遂げている。

一方、卸売市場も、変革の時期を迎えている。仲卸業者を通さない相対取引によって市場からセリが消えようとしている。そしてバーチャルなeコマースが卸売市場の役割を取って代わろうとしている。卸売市場はこの変革の時期をどう乗り切るのか？ 物流と水の流れはよく似ている。水は実にしなやかに流れ、状況によって様々な変化を見せる。水のようなしなやかさを卸売市場にも取り入れた提案を目指した。

講師評：三橋博巳

築地市場の移転新築計画を扱ったものであるが、現築地市場の立地環境の問題について検討し、40,000㎡もの広大な敷地の新しい卸売市場に果敢にチャレンジし市場の新創造空間を作り出している。そして、物流システムを良く検討し、物、人、車の動線計画を良く考えた点が評価できる。

しかしながら、物流の品目や取扱量についての検討が不十分であり、また、併設される施設についても規模、機能の詳細など、さらなる検討が欲しかった。

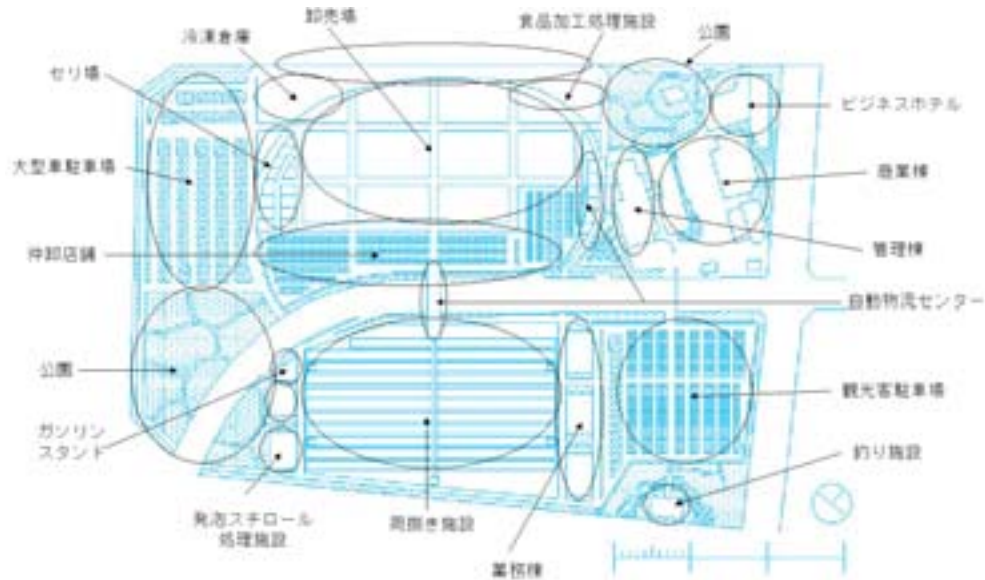
全体的に良くまとまった企画を提案し、まとめた点は多めに評価に値する。



計画フロー



敷地の位置



配置

